

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 19 日 (17:30~18:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	4 人	人	14 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・計画作成担当者や介護リーダーだけではなく、スタッフ全員が通いの送迎時などに意識的に家族とコミュニケーションをとることを心掛ける。・利用相談から利用開始までの間に、本人及び家族の想いやニーズをスタッフ全員がしっかりと把握できるような申し送りを行う。・記録や申し送りノート、サービス手順書だけでは伝わらないと思われる場合は、口頭や掲示にて必要な情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・スタッフ全員がそれぞれ送迎時に対応し、コミュニケーションをとっています。家族からの要望や、時間変更などを、メモにとるなどし、ケアマネージャーと管理者に伝え、稼働に反映させています。・今まで以上に家族の思いに寄り添って話がきけるようになりました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	6	2	1	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	9	1		14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	8	1		14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9	4		14

できている点
サービス推進会議やフェイスシートで情報を共有しています。初回からの本人様に安心していただくよう意識して声掛けや、周囲の環境を調整し、家族の方への報告、細かなサービスの変更なども本人様・家族様と相談し柔軟に変更できています。変更点も申し送りノートや掲示や口頭で伝えています。

できていない点
勤務時間と出勤日がそれぞれバラバラなので、共有でききれないことがあります。家族様との関わりが現場職員は、管理者とケアマネージャーに比べ機会が少ないので、申し送りや掲示や口頭で対応しているが、複雑に変化していくと、対応に遅れが生じる事がある。

次回までの具体的な改善計画
意識的にスタッフ全員が家族様とコミュニケーションをとっていく。 管理者とケアマネージャーに些細な事も報告する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 19 日 (17:30~18:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	5 人	4 人	1 人	14 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の目標をまとめるなどして、各利用者が目標を達成できるような関わり方を意識的に行うようにする。 ・関わりの内容は定期的に職員間でミーティングを行い、間違った関わりとなっていないか、毎日変化する行動や言動についての共有ができていないかということを見直し、次の対応に活かせるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・関わりの内容をサービス推進会議で話し合い、方向性を決めている。昨日の様子、変化などは朝礼と申し送りノートで毎日の変化に対応している。できないことでも、どうすればできるのかを考えるように、口頭や申し送りノートで共有している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	8	4	1	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	6	4	1	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4	4	5	1	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングや申し送り時に発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	8	4	1	14

できている点
「～したい」という思いを、可能な限り実現するよう努力している。何が障害となって思いが実現できていないのか、どうすればできるのかをサービス推進会議等で意見を出し合い、確実に目標に近づけるようにしている。

できていない点
利用者との関係の浅い職員には心を開いていない事があり、「～したい」に気づけないことがある。表面化しにくい事で、確実に実現不可能なこともあるため。

次回までの具体的な改善計画
利用者に対する苦手意識を少なくし、「気づき」を多くできるようにしよう。確実に実現不可能なことは、本人様や家族様と相談して、代替案を勧めてみたり、納得できる形にする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 19 日 (17 : 30~18 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	8 人	2 人	人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所理念の「ささいなことや気持ちの変化を見逃さず」という言葉通り、気づいた変化についてはすぐに報告・連絡・相談もしくは申し送りノートでの共有化を図る。 ・「以前の暮らし方」を意識的に把握するような関わりをもち、たくさんの情報によって支援の幅を広げる。 ・変化に対する即時的な支援ができるよう、気になることはすぐに相談や報告をすることとし、他スタッフの違う視点からの支援へのアドバイスを聞くようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに申し送りノートやホワイトボードに書くようにしている。 ・ケアが偏らないように、報告・連絡・相談を朝礼、口頭、申し送りノート、面談で、調整している。 ・以前より、利用者の不穏時の対応で、間違った対応が減ってきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が把握できていますか?	4	6	4		14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	9			14
②	ミーティングや申し送りにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	8	3		14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	5	3		14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	10	1		14

できている点	<p>以前の生活などは、フェイスシートなどで共有できている。職員それぞれの得意技や会話のアプローチのやり方を尊重し、多方面から本人の様子を探り、体調・ケガ・排泄・入浴・食事など看護師と相談し、本人に合った支援を行っている。</p>
--------	---

できていない点	<p>「前はこうだった」と成功例に囚われ、思い込みで同じ支援ばかりしてしまうときがある。本人の気持ちや変化は、日々変わるので都度即時には共有できないことも多い。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<p>本人の気持ちや体調の変化に気づき、同じ動きにならないように、思い込まないように、変化に対応する支援を行う。継続して利用者の変化を申し送りノート、掲示、口頭で共有していく。</p>
---------------	--

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	5 人	1 人	14 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や地域とのかかわりを計画作成担当者が行った際は、その内容を必ずスタッフ全員で共有することとして、その後の各スタッフの対応が可能になるようにする。 ・通いの送迎時や訪問時に家族と会った際には、各スタッフが意識的に本人の生活スタイル・人間関係についての話をするようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・近所のボランティアを奏に呼んでみたり、レクリエーションとして、地域のレストランに外出に行ったり、広報に載っている地域の催しに参加している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	7	5		14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	6	6		14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	7	2	14
③	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握するよう努力していますか?		3	8	3	14

できている点
<p>自宅での過ごし方を家族に聞いて把握するようにしている。地域との関係を把握するようにしている。利用者の過去の話しを聞いて理解を深めるようにしています。地域のボランティアを招いて交流。外出レクリエーションや外出レクリエーションの計画、実践をしている。</p>

できていない点
<p>話しだけで実際に見ていないので、自宅での生活をお聞きしても人により返事が曖昧でわかりにくいことがある。</p>

次回までの具体的な改善計画
<p>引き続き、本人と家族とコミュニケーションをとり、お話を聞かせていただく。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 19 日 (17 : 30 ~ 18 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	6 人	人	14 人

前回の改善計画	
<ul style="list-style-type: none">・日々の記録を充実させ、聞き取った情報やささいな変化についても可能な限り記入し、支援に役立てるようにする。・具体的な地域の資源を知り、地域の資源活用によってさらに柔軟な支援を提供できるようにする。・対応の変更は指示を待つのではなく、各スタッフが意見を提案できるようにする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none">・柔軟な支援が出来るように、変化に対応するように、こだわりをもちすぎないように、口頭や申し送りノートや会議でケアが偏らないようにしている。・体調を崩された利用者の急な宿泊、急な訪問が入れるように家族様と相談し、調整できている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	5	4	3	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	6		1	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	7	2	1	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	8		1	14

できている点
サービス推進会議や申し送りや口頭で共有できている。体調、気分などを考慮し提供するレクリエーションを変更したり、2階の寝室や1階のソファで休んでもらったりしている。 利用者様馴染みの散髪屋や美容院を継続して利用してもらっている。 近所の量販店には、利用者様と職員でよく買い物に行っている。 保育園や地域のボランティアと毎月数回交流できている

できていない点
長期宿泊の方は地域との関わりが希薄になっている可能性がある。 別の町内からもきておられるので、地域資源の活用に必要な場合がある。

次回までの具体的な改善計画
施設の地域に溶け込めるよう、これからも地域の行事に参加し、他地域からの利用者にも、ニーズに合わせた地域資源の把握に努め、利用していただくようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 19 日 (17 : 30 ~ 18 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	3 人	4 人	5 人	14 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・会議の議事録をフロアーに置くなどして、会議内容をスタッフが閲覧しやすい環境にする。 ・スタッフも順番に会議に参加するようにする。 ・登録者以外の地域住民が事業所に立ち寄れるような企画をするなどして、日常的に関わりを持てるように工夫していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・議事録は利用者が触ってバラバラになってしまうので、フロアーには置いていない。 ・会議参加は、シフト上難しいが、今後参加できるようにしていきたい。 ・地域住民が事業所に立ち寄る数は少ないが、今後立ち寄ってもらえるように考えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議内容を把握していますか?	1		5	8	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?				14	14
②	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していることを把握していますか?	3	6	1	4	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	5	1	6	14

できている点
<p>地域の文化祭や音楽祭には積極的に参加している。 地域の活動に積極的に参加している様子を会議で報告している。 ボランティアの方々も知り合いに声を掛けてくださり、さまざまなボランティアに来て頂いています。</p>

できていない点
<p>地域住民はあまり訪れない。現在のところ立ち寄れる PR もしていないので、おそらく立ち寄る理由がない。 地域のイベント内容により、利用者様の参加が難しいこともある。(不穏になられる可能性)</p>

次回までの具体的な改善計画
<p>登録者以外の地域住民が立ち寄りやすいよう、方法がないか皆で考えてみる。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 19 日 (17 : 30 ~ 18 : 00)

7. 運営

メンバー 職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	2 人	3 人	14 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や家族からの苦情や意見が事業所に伝わりやすいように、定期的にアンケートなどを実施する。 ・滋賀の縁創造実践センターのモデル事業「フリースペースかなで」(不登校児童の居場所づくり)への取組みを通じて、地域に必要とされる拠点となることを目指していく。 ・ボランティアで事業所に来ていただいた方から意見をいただく。 ・以前実施していた認知症家族のためのほっとスペースのような企画をおこない、地域からの意見を収集できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは継続的に、実施している。 ・事業的な事は、今年度は実施できていたが、今後も取り組んでいきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	5	4	3	
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	6	1	3	
③	運営推進会議等で出た、地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	3	6	
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	2	3	3	6	

できている点
<p>フリースペースにて、地域の子どもや学生ボランティアなどに関わりをもち地域に欠かせない場所づくりを行っている。</p> <p>苦情や意見は即座に運営に反映させている。</p>

できていない点
<p>利用者と家族との思いに違いがある場合、対応がスムーズにできず、結果、家族の思いへの対応が強くなってしまう事がある。</p>

次回までの具体的な改善計画
<p>アンケートの実施。</p> <p>他の小規模多機能型の事業所の、地域と協働した取り組みを聞き取りし、できるか考えてみる。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 19 日 (17 : 30 ~ 18 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	5 人	4 人	1 人	14 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・全職員がひやりはっと報告をこまめに提出する意識をもつ。・報告書を書くことだけにとどまらず他スタッフが書いた報告書を読むことをし、再発予防や仕事の取り組み方を変えることにつなげるようにする。・同じような内容のひやりはっと報告が起こっている時は、臨時で会議などを行い、サービスの質を向上することを心掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・ひやりはっと報告書の提出で事故に対する意識が高くなっており、サービスの向上につながってきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	7	2	3	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	2	3	6	14
③	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	4	4	4	14

できている点
年度毎に、それぞれ研修に参加できるように予定が組まれ参加できている。 資格取得も県や市の補助金制度などを利用し研修を受け、取得できている。 ひやりはっと報告書や事故報告書をサービス推進会議や運営推進会議で報告している。

できていない点
ひやりはっと報告書の提出数が少なくなっている。事故ほどわかりやすく実感がないので、流されているのかもしれない。 年齢や興味により資格取得に必要性を感じない職員もいる。

次回までの具体的な改善計画
資格取得は随時募って、受講していく。受講したい講習の聞き取りを行う。 ひやりはっと報告書をこまめに提出する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 19 日 (17 : 30 ~ 18 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 職員 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	7 人	2 人	人	14 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレや風呂の使用中表示の仕方を変更する。 ・スピーチロックにならないよう、別の言葉に置き換えるよう配慮する。 ・身体拘束とならないための方法を会議などでしっかりと議論し、必要のない拘束を行わない意識を強く持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・職員のアイデアで入浴中のプレートを作り、掲げるようになった。 ・身体拘束のレベルを皆で共有できるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	4	1		14
②	虐待は行われていない	12	2			14
③	プライバシーが守られている	6	8			14
④	必要な方に成年後見制度を活用している事を把握していますか?	3	5		6	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	5	1	1	14

できている点
<p>入浴やトイレの札をわかりやすく変えたので、配慮がしやすくなった。 身体拘束のレベルで、安全を考えたこまでは OK かを、確認しケアにあたっている。</p>

できていない点
<p>入浴やトイレの札は、わからない利用者もいるので、防げていないときもある。 プライバシーを守るよう努力はしているが、申し送りの掲示などの伝わりやすさに支障がでる可能性もあるので考えながら行っている。</p>

次回までの具体的な改善計画
<p>掲示や見やすい場所に置くために、利用者がバラバラにしまわれないように、棚にカーテンなどをつけてみる 成年後見制度を皆で学習する。</p>